

「JTA東日本大震災・震災孤児等チャリティーTシャツ2013」への協力をお願い

2013（平成25）年11月1日

日本テコンドー協会

理事長 河 明生

日本跆拳道協会(JTA)は、第24回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会を開催するにあたり、東日本大震災・津波により両親または片親を亡くされた学生・児童への奨学金等の支援を目的とする「JTA東日本大震災・震災孤児等チャリティーTシャツ2013」を3年連続で企画しました。

2011年度は、JTA門人・会員・関係者の皆様による

「JTA東日本大震災・震災孤児等チャリティーTシャツ2011」へのご協力により、福島県主管「福島県・東日本大震災ふくしまこども寄付金」へ20万円を寄付することができました。同基金は震災により両親を亡くされた21名・片親を亡くされた約150名の少年少女達への奨学金等の支援を目的とするものです。

しかし、2012年度の「JTA東日本大震災・震災孤児等チャリティーTシャツ2012」は、九州テコンドー連盟の門人の多くが協力してくれましたが、他の加盟クラブの会員の反応が鈍く、遺憾ながら未だに多くの在庫をかかえ寄付を控えております。

（年内には寄付を行います。この点については別途お願いしたいと考えております）

震災から2年半が過ぎましたが、被災地の復興は思うようには進んでおりません。

とりわけ福島県は深刻です。

安部晋三首相が東京五輪誘致のプレゼンテーションで世界に言っていた

「福島原発の汚染水は完全にコントロールされている」わけではありません。

むしろ福島における原発の脅威は、日に日に深刻化しているのです。

例えば急増している汚染水を貯めたタンクをいったいどの自治体が引き取るのでしょうか？

このような状況であるにもかかわらず、「大震災の記憶」は日に日に薄れつつあります。

2011年度には、多くの著名人が、被災地へ赴き、あるいは自分のファンに寄付を呼びかけました。

しかし、2013年度は、持続的に上記の善行を実践している著名人は限られております。

「売名行為だったのでは？」

と疑念をもたれているのが現実です。

注) 19世紀の米国でも成功者の寄付につき議論が沸き起こりました。
巨万の富を得た経営者による自治体への巨額の寄付が流行りだしたところ
「彼が大金を寄付したのは、金は天国にも地獄にも持っていけないからだ！」
と陰口を叩かれ、
寄付された自治体や団体が感謝の証として銅像を建立したところ
「鳥の糞で汚される愚考のモニュメント！」
と馬鹿にされ嘲笑されました。
寄付金の用途がまったくわからない、本当に必要な事業に生かされるのか疑問である、
役人や団体職員の給料になるだけではないか、等の理由です。
これを改善し、米国史に残る正しい寄付の模範を示したのがアンドリュー・カーネギーです。

不誠実な輩に至っては、集まった寄付金の一部しか被災地に寄付せず

「善意の寄付金を着服しているのではないか？」

「自分のうまくいかない営利事業に利用しているのではないか？」

と疑われております。

開き直る輩は一連の疑惑に

一事務手数料等を差し引いているだけ

と答える始末です。

確かに、我が日本テコンドー協会がチャリティーTシャツで寄付できる金額は少なく、

大企業や著名人等が集めて実際に寄付した金額には遙かに及びません。

またTシャツ代金に相当する金額を全額寄付した方が良いのではないか、という意見もあるでしょう。

しかしながら、私・河は、次のように考えております。

第一に、善意の美しい志には、金額の多寡に基づく上下という序列はございません。

むしろ富裕とはいえない人々の善意の寄付こそが、慈善のあるべき本来の姿であると確信します。

少ない金額で世間に注目されないことは、むしろ本来の寄付行為であると考えべきです。

JTAの少年少女部の皆さん！

子供にとっては大変だとは思いますが、可能ならば、親から買ってもらうのではなく、貴方の貯金、お小遣いやお年玉（親から前借り。笑い）等で購入してみませんか。

純粋な子供の頃に実践した美しい志は、みなさんが大人になっても、美しい記憶として定着します。

大人になった数年後、苦しく、つらく、悲しい時に、古くなったTシャツを手にとって眺めて下さい。純粋な子供の頃の美しい心が呼び起こされ、きっとあなたを最善の道へと導くことでしょう。逆に、悪の道との断絶を可能にすると考えます。

第二に、被災を免れた我々は、大震災・大津波の教訓を胸に刻みながらも、命を失った犠牲者の無念及び家族を亡くされ、家や職場を失った方々の悲しみを忘れてはならない、という持続的な良心をもつべきだと考えます。

そのためには、身につける都度、上記の良心を喚起するものがが必要です。

それが「JTA東日本大震災・震災孤児等チャリティーTシャツ2013」なのです。

Tシャツを着る都度、

「日本人の同胞として、微力ながらも、持続的に何かできないか・・・」

と悩める美しい心を持続的に持てる「美しい武道家」の輩出こそがJTAの使命です。

「JTA東日本大震災・震災孤児等チャリティーTシャツ2013」の収益金はすべて東日本大震災・大津波により両親または片親を亡くされた学生・児童への奨学金等の支援を目的とする基金へ寄付します。

寄付金の多寡よりも、持続的に支援するというJTA門人の心意気を示そうではありませんか！ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

記

品名 JTA東日本大震災・震災孤児等チャリティーTシャツ2013 蹴美

価格 3000円（税込み）

*注文方法は最下段をご覧ください。

寄付先

東日本大震災被災地の県が主管する

震災孤児等への奨学金基金へ

価格から仕入金額を差し引いた全額を寄付します。

デザイン (黒色のTシャツの背中に、白字で 蹴美 と縦書き)

蹴
美

Tシャツの画像は、JTA本部HPのトップ画面の下段に公開されている
「第24回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会ポスター」の右最下段、
「チャリティーTシャツ2013 蹴美」を参照して下さい。

初回受注生産締切日 2013年11月15日

色 黒 ブラック

サイズ	身丈	身幅	肩幅	袖丈
①XL	74	56	49	22
②L	71	53	46	21
③M	68	50	43	20
④S	65	47	40	19

材質 綿100%

販売業者 (株) マステック

注文方法（JTA会員以外の方も購入可能です）

個人で注文しても団体で注文しても構いません。

ただし、JTA現役会員へのお渡しは、送料経費を節約することにより、
少しでも寄付金額を多くしたいので所属クラブ・同好会長を通じて行います。

1, 振込先

下記のゆうちょ口座（旧郵便振替口座）に代金を振り込んで下さい。

少しでも多くの寄付金を募るため振り込み手数料は購入者負担でお願いします。

ゆうちょ口座名義 I T A

ゆうちょ（旧郵便） 振替口座

0 0 1 3 0 - 4 - 6 6 1 0 3 3

*購入者が「ゆうちょ通帳・カード」で「ゆうちょATM」を通じて振り込むと手数料が無料です。
その場合、下記の備考欄記入ができませんので、メールで通知して下さい。

ita@jita.jp

ゆうちょ通帳名義人（例、保護者の口座から振り込む方）、振込日、金額を明記して下さい。

2, JTA現役会員が購入する場合の備考欄記入（色、サイズ、枚数、所属）

振り込み用紙の通信欄に必ず下記を記入して下さい。

①サイズ

②枚数

③JTA所属クラブ名

個人購入手続き通信欄記入例

黒、L、1枚、東京城南TC

団体購入手続き通信欄記入例

青M1枚、赤L3枚、緑XL1枚、東京城南TC

注意 振り込み金額は枚数*3000円です。

3, 一般の方の購入 (JTAのOB含む)

本Tシャツは、一般の方でも購入できます。

ただし、郵便送料はご負担下さい

(送料は800円。1枚購入の場合、振り込み金額は、3800円となります)

「ご依頼人」欄には、必ず氏名、住所、電話番号を記入して下さい。

記入がないと送ることができませんので、寄付金として処理させていただきます。
また振り込み用紙の通信欄に必ず下記を記入して下さい。

- ①色
- ②サイズ
- ③枚数

個人購入手続き通信欄記入例

黒、L、1枚

団体購入手続き通信欄記入例

青M1枚、赤L3枚、緑XL1枚

注意 振り込み金額は枚数*3000円です。

*購入者が「ゆうちょ通帳・カード」で「ゆうちょATM」を通じて振り込むと手数料が無料です。
その場合、下記の備考欄記入ができませんので、メールで通知して下さい。

ita@jita.jp

この場合、ゆうちょ通帳名義人、振込日、金額を明記して下さい。

発送先は、I T Aに到着する振り込み通知書に記載されている口座名義人の住所に郵送します。

その他問い合わせ先 **ita@jita.jp**